

# 富士見町景気動向調査報告書

～小規模事業者・中小企業者景況基本調査～

## 2024年（令和6年）1月から3月

- 1 調査期間 2024年1月～3月（第4四半期）
- 2 調査対象 富士見町内小規模事業者・中小企業者
- 3 回答状況

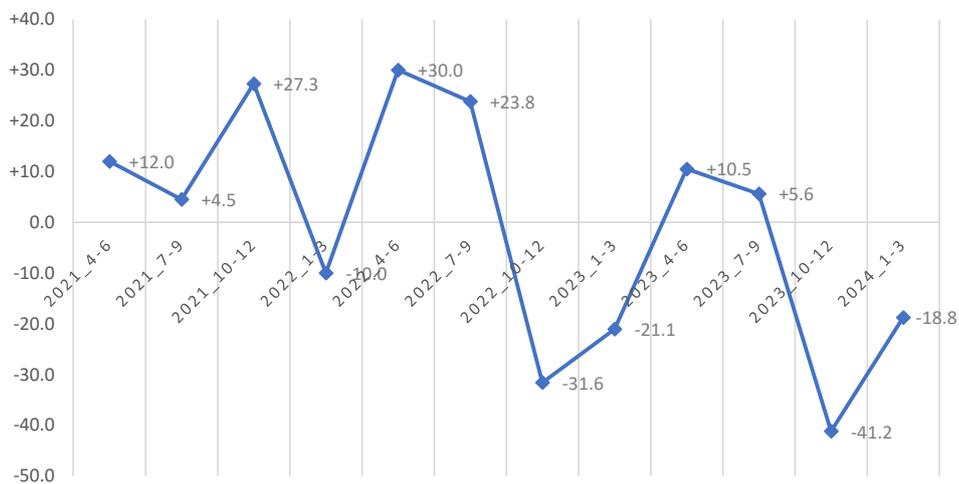
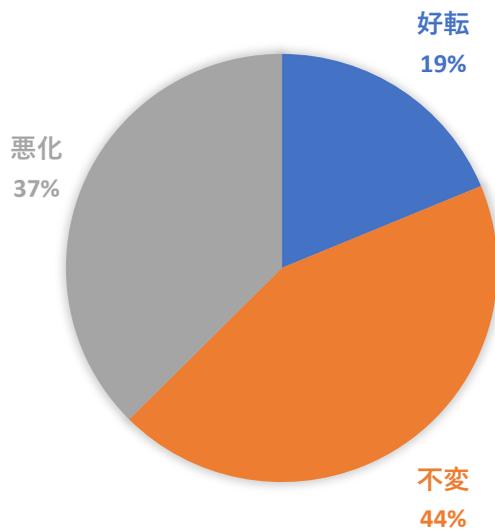
製造業	9社
建設業	2社
飲食業	2社
小売業	1社
観光業	2社
計	16社
- 4 調査項目
  - ① 3か月前と比べて
  - ② 前年同期と比べて
  - ③ 3か月後の見通し※ 経営者が受注額（販売額）・売上高・営業利益等から主観的に判断しています。
- 5 業況DI（Diffusion Index）とはゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表し、マイナスの値で景気の下向きを表しています。

Volume 1 2

主管 ふじみまち産業振興センター

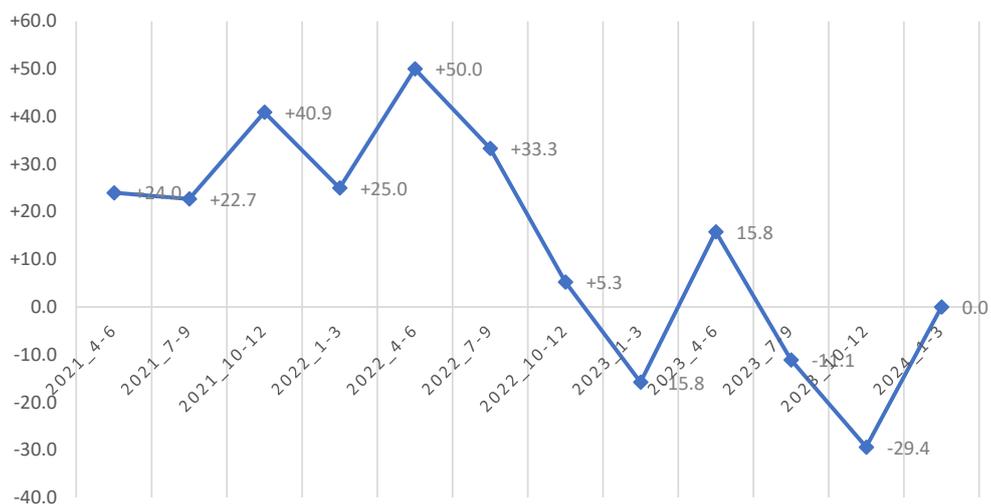
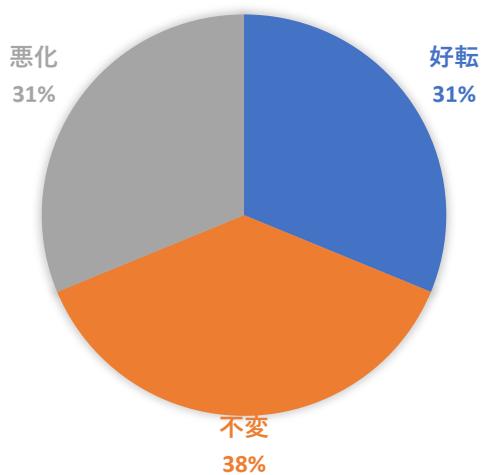
<調査項目① 3か月前と比べて>

		好転	不変	悪化	計	業況DI	前回調査比
全体	実数	3	7	6	16		↗
	構成比	18.8%	43.8%	37.5%		-18.8	
製造業	実数	1	5	3	9		↗
	構成比	11.1%	55.6%	33.3%		-22.2	
建設業	実数	1	1	0	2		↗
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%		+50.0	
小売業	実数	1	0	0	1		
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%		+100.0	
飲食業	実数	0	0	2	2		↘
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%		-100.0	
観光業	実数	0	1	1	2		↗
	構成比	0.0%	50.0%	50.0%		-50.0	
サービス業	実数						
	構成比						



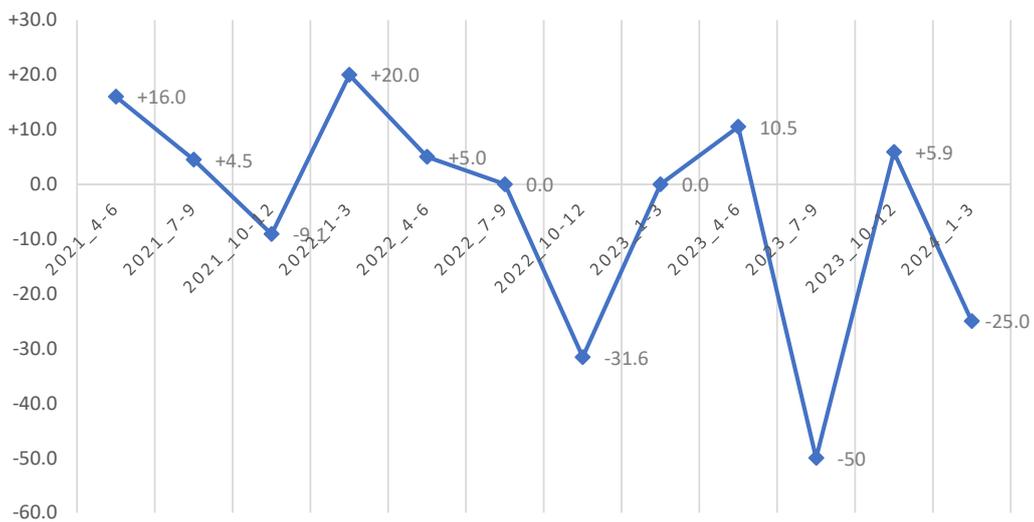
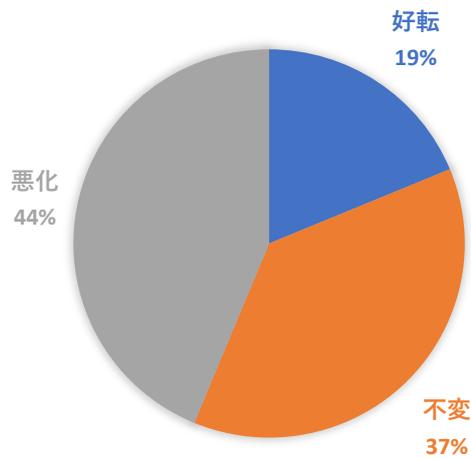
<調査項目② 前年同期と比べて>

		好転	不変	悪化	計	業況DI	前回調査比
全体	実数	5	6	5	16		➔
	構成比	31.3%	37.5%	31.3%		0.0	
製造業	実数	1	3	5	9		➔
	構成比	11.1%	33.3%	55.6%		-44.4	
建設業	実数	0	2	0	2		➔
	構成比	0.0%	100.0%	0.0%		0.0	
小売業	実数	1	0	0	1		
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%		+100.0	
飲食業	実数	2	0	0	2		➔
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%		+100.0	
観光業	実数	1	1	0	2		➔
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%		+50.0	
サービス業	実数						
	構成比						



<調査項目③ 3か月後の見通し>

		好転	不変	悪化	計	業況DI	前回調査比
全体	実数	3	6	7	16		↘
	構成比	18.8%	37.5%	43.8%		-25.0	
製造業	実数	0	5	4	9		↘
	構成比	0.0%	55.6%	44.4%		-44.4	
建設業	実数	1	0	1	2		↘
	構成比	50.0%	0.0%	50.0%		0.0	
小売業	実数	1	0	0	1		
	構成比	100.0%	0.0%	0.0%		+100.0	
飲食業	実数	1	1	0	2		↗
	構成比	50.0%	50.0%	0.0%		+50.0	
観光業	実数	0	0	2	2		↘
	構成比	0.0%	0.0%	100.0%		-100.0	
サービス業	実数						
	構成比						



<経営者の眼(見方)>

事業主コメント	業種
先が見えなくて困っている。	製造業
少ない案件を利益を削って奪い合っている状況。良い話を聞かない状況。	製造業
長い間電気自動車が好調でいたが、ここに来て少し陰りが見え始めている。世界を見てもEVが鈍化傾向にある感がする。生成AI向けの半導体製造装置が好調ではあるがEV関係の落ち込みをカバーするまでの仕事量ではない。高精度なものを求めている企業は多いが、既存のお客様からの発注と被るのが怖く、新規営業に行けていない。	製造業
現在が好転といっても特殊要因によるものであり不変に近い。前年も特によかった印象はないが、それと比較してその落ち込みの大きさに改めて驚いた。3か月後の情報も出ているが、通常あまり正確ではないので参考にはしていないが、残念ながらさらに悪化しそうな数字が出ている。	製造業
ここ半年ほど続いた受注不振は1~2ヶ月前から改善し需要が旺盛になってきている。コロナ明けで観光やレジャーに消費が回っていたものが一巡し、再び需要につながってきている感触。ただ、今春の各種資材の値上がりや運搬費の上昇、為替の影響で今後インフレ感が更に出てくると予想され消費の冷え込みを危惧している。	建設業
購入品の価格高騰、電力料金高騰など経営を圧迫している外に、どの業界においても景気低迷が続いて各企業受注減になっている。見通し立たない。	製造業
回復に向かう兆しは情報としてはあるが、明確なタイミング時期が不明である。おおよそ年内の何処かでアクセルは踏まれると思う。生産加速力も不明ではあるが、体制だけは瞬発力が必要なので維持をしている。中小企業の賃金ベースアップの話題もあり、国策が大手企業に浸透し始めており、顧客から常識あるコストアップについて了承する連絡が先週あった。	製造業
堅調に推移していますが、仕事量の平準化が課題になっています。	製造業
労働者不足が一番の心配なので、売上高、利益に影響するので困っています。	建設業